

事業番号	0	1	4
実施計画事業	○		
実施計画事業以外の事業			

令和元年度 事務事業評価シート

1. 事業の概要

事務事業名	資源回収ステーション施設管理事業				担当部	市民生活部					
事業期間	平成16年度 ~ 令和2年度以降				担当課	ごみ政策課					
新基本計画 (平成26年~平成30年)	基本施策	05	展開方向	1							
予算区分	一般会計	款	04 衛生費	項	02	目	02	大	04	中	06

2. 実施状況

【平成30年度実施状況】
資源(プラ製容器包装、空きびん、空き缶、ペットボトル、金属類、危険ごみ、雑がみ、古紙・古布類、蛍光管類、羽毛ふとん、廃食用油、剪定枝類(第2,3))を常時(第2は土日のみ)持込みできる資源回収ステーションを市内に3か所設置し、その管理をシルバー人材センターに委託することで、市民の排出利便性及び資源の回収を促進した。
平成30年度(平成30年10月から実施)は、実施計画事業として、平成29年12月に開設した第3資源回収ステーションに、従来燃やすごみとして処理していたごみ集積場に排出された剪定枝類を搬入し燃やすごみの減量及び再資源化を図った。

(主な事業の成果)
H16.4 第1資源回収ステーション開設(小牧原)H30利用者数:77,442人
H26.7 第2資源回収ステーション開設(大草) H30利用者数:9,616人、剪定枝類:349.48t
H29.12 第3資源回収ステーション開設(新小木)H30利用者数:10,781人、剪定枝類:413.68t

3. 総合診断

事業費	項目	単位等	H27	H28	H29	H30	R1		
			直接経費	財源	一般財源	千円	5,567	7,102	9,275
			国・県支出金	千円	0	0	0	0	
			その他	千円	0	0	0	0	
			計(A)	千円	5,567	7,102	9,275	13,431	
			対前年比	%	-	127.6%	130.6%	144.8%	
			(当初)予算額	千円	5,589	7,859	10,426	13,507	15,702
人件費			正職員	人	0.07	0.07	0.07	0.07	
			正職員(平均人件費)	千円	524	524	524	524	
			その他職員	人	0	0	0	0	
			その他職員(時給×年間時間)	千円	0	0	0	0	
			計(B)	千円	524	524	524	524	
事業費合計(C=A+B)			千円	6,091	7,626	9,799	13,955		
指標	成果指標	資源回収ステーション利用者数	目標	-	-	-	-	-	
			実績	70,158	71,758	77,944	97,839		
	再資源化率(%)	目標	-	-	-	-	-		
		実績	35.3	36.7	35.6	36.6			
	活動指標	資源回収ステーション利用者数	目標	-	-	-	-	-	
			実績	70,158	71,758	77,944	97,839		
	@事業費	受益者数(a)	人	-	-	-	-	-	
			受益者あたり事業費(b=C/a)	円	-	-	-	-	

診断結果	改善点は見られない	○	改善点が若干見られる		大いに改善すべき
	<p>資源回収ステーションの利用者は年々増加しており、平成29年12月に開設した第3資源回収ステーションの開設及び平成30年10月からのごみ集積場に排出された剪定枝類の別回収の効果もあり、平成29年度は35.6%（県内1位）だった再資源化率は平成30年度では36.6%と大幅に上昇した。今後とも、資源回収ステーションの適正な運営を継続し、燃やすごみの減少及び再資源化率の向上を推進するものとする。</p>				

4. 総合評価

事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事務事業評価による額	千円	予算区分	節	節	
評価結果	<p>本事業は、市民の排出利便性を高め、もって資源の回収を促進することを目的として、市施設の一部又は跡地等を利用して必要最小限の費用で開設した資源回収ステーションの管理運営を行うものであり、今後とも利用者の状況及び他の施策との調和を図りながら適正な運営を維持していくものとする。</p>					